

「ふるさと納税は減少か」 「積立額は増額見込み」

おがたな
緒方直樹 議員



問

地域政策課長

ふるさと納税の総務省の提示は、地場産品の類型9項目示されている。

問

返礼品が5割から3割になったが寄附額の件数と寄附額の変動を伺う。

地域政策課長

平成30年11月から令和元年5月までの寄附件数と寄附

額約5万6900件、約9億2400万円で、昨年の同時期と比べ寄附件数では約4割、寄附金額では約5割である。

問

落ち込んでいるが今後寄附件数、寄附額は減との見込みか。

地域政策課長

今年度4月、5月の状況では件数は約1万4500件、金額は約2億2400万円となり、前年の同時期と比べ寄附件数は約6割、寄附金額は約8割である。現段階の予測では大きく減少することはない。

問

5割から3割になったことでの考えか。

地域政策課長

分析すると返礼品の申込みの身と返礼品、ふるさと納

税、寄附された方の傾向などを調べるとかなりの割合でリピーターの方がいる。高鍋町で提供する地場産品のファンの方がかなりいると理解している。一定の数字は、底割れをするようなことはないと考える。

問

寄附額にかかわる事業への影響は。

地域政策課長

寄附額は減少で見込んでいるが返礼品の見直し等に伴い関連経費も減少する見込みである。その分積立額は増額の見込みである。

問

竹鳩橋について竹鳩橋等整備促進期成同盟会の

進捗状況は。

町長

竹鳩橋架替えに向けて協議を重ね現在、高鍋町が事業主体となって実施時期等の判断をする段階である。財政状況を考慮し、事業着手時期の判断が困難であるため、本年3月に期成同盟会の活動を休止。新たな展開が可能になった段階で再開する。

問

活動再開時に、整備に向けて問題となることは。

建設管理課長

一番の問題は、財源確保と考える。

問

休止期間中に財源確保に向けた取り組みは行うのか。

建設管理課長

国の補助事業55%で考えている

総括質疑

中村議員

建設管理課長

茂広毛平付・式本松線について変更せざるを得ない事由は。両路線が別々の年度に築造され、道路認定がされていたが、今回の道路改良により2つの路線として区分する理由がなくなったので、1路線として変更する。

中村議員

避難所の備蓄品が購入されるようだが、新たな備蓄品を購入するののか。

総務課長

今回、予算計上している物品は備蓄品でなく、災害時の避難活動を支援するため、消防団機庫等に配備を予定しているレスキューキット、折り畳み式リアカー等の購入である。

総務産業建設常任委員会

○期日 5月16日・17日

○場所 熊本県球磨郡多良木町・天草市

熊本県多良木町の「農事組合法人多良木のびる」の調査の目的は、高鍋町の農業を取り巻く環境が厳しくなり、農業従事者の高齢化や

後継者不足、収入の不安定さ等と農地の遊休化が進んでいます。そこで、農業法人化をどのように進めていくべきか調査を行いました。「多良木のびる」の経営理念は、「未来につながる農と食の形をつくる」ことで、米のブランド化に取り組み、販路を九州全域に広げ経営の安定充実を図っています。集落営農法人化は、20ヘクタール規模の経営者を育成することや、集落でまとまるメリットを大事にし、また地域で理解できる人を集めて機械化と共に、品質を上げ大量生産、大量販売で販路を広げていくという積極的な経営姿勢でした。高鍋町の農業の将来を考えるには、意欲的な地域のリーダーとなる者の育成が大事だと強く感じました。

天草市において、「天草市の移住定住計画」の調査を行いました。日本社会が高齢化社会、人口減少社会に移行している中で、天草市は人口を増やすため「あまくさライフ」という移住・定住促進計画を作成し、住みたい町づくりに取り組んでいます。

まず空き家等情報バンク制度は、移住経験者で不動産を取り扱う資格を持つ移住定住コーディネーターが、空家の現地調査や家主の価格設定相談など移住経験を活かし活動をしていました。移住・定住促進支援制度は、「住まい」・「暮らし」「仕事」・「情報」の4つに分類され、補助金・奨励金・支援事業・ホームページ作成などそれぞれの分野で事業を行っていました。移住者の特徴として働き世代が半数を占めるのは、仕事の起業支援や就業支援、それに子育て教育支援、住まいや暮らしに関する支援が充実していることが理由と考えられます。



「農事組合法人多良木のびる現地調査」

令和元年 第2回定例会 可否表

件名		(○賛成 × 反対 一欠席) ※議長は採決に加わりません															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
議案43	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案44	令和元年度高鍋町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
発議1	高鍋町企業立地奨励条例の一部改正について	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×

以下の議案は、全員賛成で可決されました。

議案第34号	専決処分の承認を求めることについて（専決第1号） [高鍋町税条例等の一部改正について]
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて（専決第2号） [高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について]
議案第36号	平成30年災第655号坂本・鬼ヶ久保線道路災害復旧工事請負契約について
議案第37号	町道認定路線の変更及び町道路線の認定について
議案第38号	高鍋町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第39号	高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について
議案第40号	高鍋町介護保険条例の一部改正について
議案第41号	高鍋町高齢者等多世代交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第42号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
議案第45号	令和元年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

発議（議員発議）とは

一定の要件を満たした上で議員から議案を提出し上程すること

今定例会では、
提出者 松岡 博信議員
賛成者 中村 末子議員にて
企業立地補助金の廃止の議案が提出されました。

「高鍋町の返礼品は260点ほど」